

図 版 集

平成 28 年度 地下水の見える化手法に関する検討業務

都城地区

(現状のデータで作成可能な図案)

図番	テーマ	タイトル (仮称)	概要
① - 1	都城地区の地下水に関する基礎的な図面	都城地区の地形	地形、地質、降水量に関する基本情報。
① - 2		都城地区の地質	
① - 3		都城地区の降水量	
① - 4		都城盆地の水の動き	都城盆地・都城地区へ流れる地下水の流れや地下構造の概況を三次元的に表現。
②		都城地区の地下水位	東南西側の山域から北側へ傾斜している地下水面を示す。
③ - 1	地下水と歴史・文化財	古代日向神話から引き継がれる生活と水との関わり	城郭、水田跡地、集落等の分布とその時代区分、昔の人たちの生活と地下水や湧き水が密接に関わっている場所や事象がある地域、神社・寺院等の情報を重ねることで歴史の中で湧水や地下水が記憶されているスポットを示す。
③ - 2		湧き水と神社・名勝などの関わり	
④	地下水と生物	大淀川水系中流域に見られる生物	環境省の重要湿地である大淀川水系中流域に生息する生物の分布を示し、地下水が有する多面的な機能の一つである生態系維持機能の一端を明らかにする。
⑤	地下水と産業	豊かな産業を育む都城の地下水	都城に多くある焼酎酒造など、地下水に関連する地域産業の分布を示し、地域産業を支える豊かな地下水資源を表現する。

平成 29 年 3 月



国土交通省 国土政策局 国土情報課

都城地区

・・・宮崎県内陸部に位置し、周囲の山地から流れ込む地下水に恵まれている地区

都城盆地の地形・地質・地下水

- 都城盆地は、宮崎県の南西部に位置し、北西には高千穂峰をはじめとする霧島火山群、東に鰐塚山系や諸県丘陵をあおぎ、周辺を山地に囲まれた広大な盆地です。
- 南北の長さは約 30km、東西の幅は約 15km、面積は約 760k m²になります。
- 盆地の中央には宮崎県最大の河川である大淀川が北に流れ、沖水川、庄内川、東岳川などの支流が台地を削りこむとともに盆地内に扇状地を形成しています。
- 霧島山系や鰐塚山系から浸みこんだ雨水が、永い年月をかけて地下に浸透して盆地に蓄えられ、豊富で良質な地下水を作り出しています。



▲高城郷土資料館から望む都城盆地

都城地区の特徴

- 都城地区は、記紀神話では日本神話の舞台の一つとされる日向の国(宮崎県)の南部に位置し、古くから神々への信仰や遺跡、昔話など日本古来の伝統が残っている地域の一つです。
- 特に有名な場所として、仁徳天皇の妃となった髪長姫にゆかりのある「早水公園」があり、髪長姫池には髪長姫が産湯に浸かったという伝承が残されています。
- 九州は朝鮮半島や中国大陸に近く、日本における文化の先進地として、日本の中でも早くから稲作文化が発展した地域で、縄文や弥生、古墳時代などの人々の生活が遺跡として多く存在し、調査・保存活動が進められています。
- 都城盆地を開発して成立した島津荘の管理人に任命された惟宗忠久が、荘園名をとって「島津」と名乗ったことから「島津家発祥の地」といわれています。
- 都城地区の中央を北流する大淀川水系は環境省の「重要湿地」に指定された地域を抱える環境の良い地域であり、貴重な生物のすみ場となっています。
- 豊富で良質な地下水は、地域の産業にも大きな恵みを与えており、南九州の代表的なお酒である焼酎の蒸留や味噌、醤油などの製造に利用されています。



▲早水公園



▲弥生～古墳時代に使われていた水田跡地



▲祝吉ホテルの里



▲地下水を使った商品



▲都城地区の位置



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情使、第1514号)」
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

都城地区の中にある主な「まち」

みやこのじょうし 都城市

- 都城盆地の中心にあり、都城盆地一帯の拠点都市です。
- 面積 653.3 km²、人口 163,677 人（平成 29 年 3 月 1 日現在）
- 2006 年(平成 18 年)1 月 1 日に(旧)都城市・山之口町・高城町・山田町・高崎町が合併し、現在の都城市となりました。
- 牛肉、豚肉、鶏肉の産出が全国上位です。また、全国の竹弓の大半を生産しており、江戸時代から続く「都城大弓」は国の伝統的工芸品に指定されています。
- 主に地下水は水道水源として利用されています。
- 地下水は、農業用水や工業用水としても利用されています。
- 有名な観光地
せきの お
 関之尾滝(日本の滝 100 選)
おうけつ
 甌穴群(天然記念物)
もち お
 母智丘公園(日本さくら名所 100 選)
はやみず かみながひめ
 早水公園・万葉植物園(髪長姫の伝説が残る)
つまきりしま
 東霧島神社(霧島六社権現の一つ)



▲都城市 PR 部長 ぼんちくん



▲関之尾の滝

みまたちょう 三股町

- 都城盆地の南東に位置するまちです。
- 面積 110.02km²、人口 25,464 人(平成 29 年 3 月 1 日現在)
- 城跡など数多くの史跡があります。100 年の伝統を誇る「早馬まつり」が有名です。
- 主に地下水(深層地下水)を 水道水源として利用しています。
- 有名な観光地
ながたきょう わにつか
 長田峡(鰐塚県立公園に指定されています)
かみよね
 上米公園
しいば え
 椎八重公園



▲長田峡



▲早馬まつり



▲椎八重公園

たかはるちょう 高原町

- 都城盆地の北に位置し、町の西端には高千穂峰があります。
- 面積 85.39km²、人口 9,082 人(平成 29 年 3 月 1 日現在)
- 「高天原」「天孫降臨」「神武天皇誕生」などの伝承が息づく町です。
- 主に地下水(深層地下水)と湧水を水道水源として利用しています。
- 有名な観光地
 高千穂峰(日本最初の峰)
あまのさかほこ
 天逆鉾(高千穂峰の頂上にある伝説の鉾)
みいけ
 御池
さの じんむ
 狭野神社(神武天皇誕生の地に創建)
きりしまひがし
 霧島東神社(前出の東霧島神社とは異なる)



▲高千穂峰



▲御池



▲天逆鉾

そおし 曾於市(鹿児島県)

- 都城盆地の南西、宮崎県との県境に位置するまちです。
- 面積 390.11km²、人口 37,338 人(平成 29 年 3 月 1 日現在)
- 全体的に起伏の多い土地であり、東部には大淀川の源流があります。
- 「弥五郎どん祭り」(県指定無形民俗文化財)をはじめ多くの伝統の祭りがあります。
- 主に地下水(深層地下水)を水道水源として利用しています。
- 有名な観光地
きりほら
 桐原の滝
ゆうきゆう
 悠久の森
さんれんとどろ
 三連轟
みぞのくちいわあな
 溝ノ口洞穴(県指定天然記念物)
 大淀川源流



▲溝ノ口洞穴



▲桐原の滝



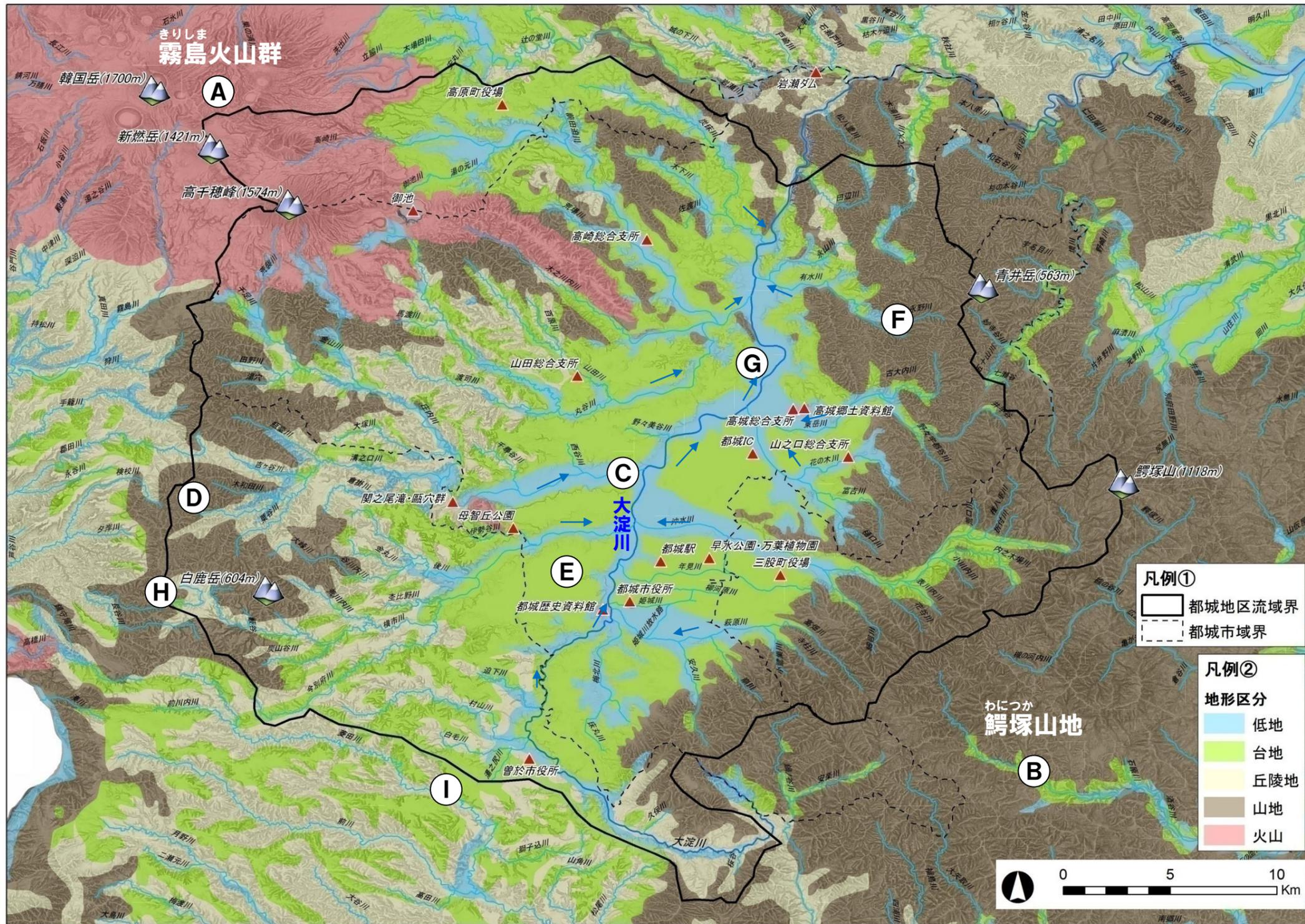
▲弥五郎どん祭り



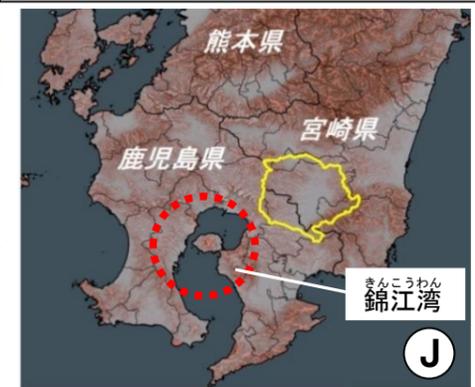
▲住吉神社の流鑄馬

図①-1：都城地区の地形

きりしま 霧島火山群、南東の鰐塚山地にはさまれた、南北に長い盆地



- ・都城盆地は西部の霧島火山群^{きりしま}①、東部の鰐塚山地^{わにづか}②に囲まれた盆地です。
- ・盆地中央を南から北に流れる大淀川^{おおよどがわ}③に向かって、東南西側の山地から複数の支流が流れ込んでいます。
- ・四万十累層群などからなる山地^{しまんとるいそうぐん}④、大淀川より西側にはシラス台地^{せいらす}⑤、東側には扇状地性の段丘^{せんじょうち}⑥、河川氾濫原^{かせんはんらんげん}⑦が広がっています。
- ・盆地の西側は白鹿岳^{しらがだけ}⑧とそれに連なるシラス台地⑤が広がっています。
- ・盆地の東側は鰐塚山地^{わにづか}②から流下する河川沿いに扇状地⑥が広がっています。
- ・大淀川沿いは狭い低地となっています。
- ・シラス台地は、シラスの供給源である鹿児島県の錦江湾^{きんこうわん}⑨に向かって、南西方向⑩に緩やかに高度を増しながら広がっています。
- ・これらの地形は盆地の中央に向かって地下水を集める役割を果たしています。



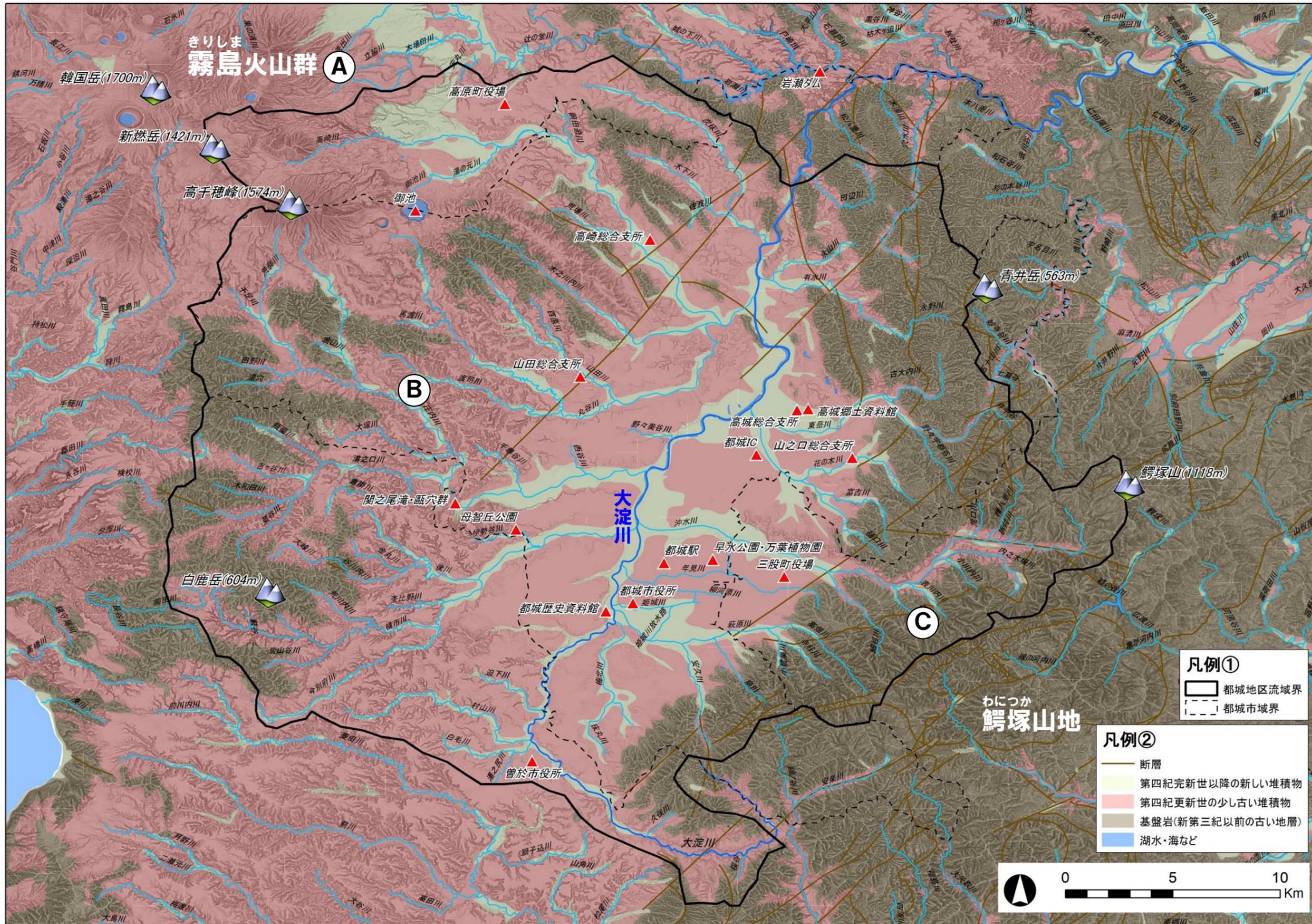
凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地形	20万分の1土地分類基本調査 地形分類図	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図①-2：都城地区の地質

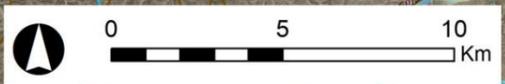
西側は火山灰の台地が広がり、東側は古い地層でできた山地と水はけの良い扇状地 せんじょうち



- ・都城盆地の地質は「西部」、「中央部」、「東部」の3つに分けることができます。
- ・「西部」では新しい堆積物(第四紀完新世以降)である霧島火山群①Aが高い尾根となって流域界を形成し、丘陵や台地②Bでは火山灰が降り積もっています。
- ・シラスは堆積時の熱で部分的に溶けて固い溶岩のようになった下部と、隙間の多い軽石や火山砂が混じった水を通しやすい上部に分かれています。
- ・固まった火山灰は地下水を透しにくく、西側の谷の崖の下では湧水が見られたり、関之尾滝などの滝の地形を形成したりしています。
- ・「中央部」②Bは古い湖があった時代に砂等が溜まり、その後河川から流されてきた砂やれきが溜まったため、地下水が透りやすい構造になっています。
- ・「東部」③Cの山地は固い地盤となっています。

凡例①
 都城地区流域界
 都城地域界

凡例②
 断層
 第四紀完新世以降の新しい堆積物
 第四紀更新世の少し古い堆積物
 基盤岩(新第三紀以前の古い地層)
 湖水・海など



地質年代と地下水の通しやすさ

およその年代	地質時代	主な構成物	地下水
現代	第四紀完新世	礫・砂・泥	通しやすい
1万1700年			
258万年	第四紀更新世		
6600万年	第三紀	火山岩類 深成岩類等	通しにくい
中生代～古生代 (中生層)			
2億5千万年			

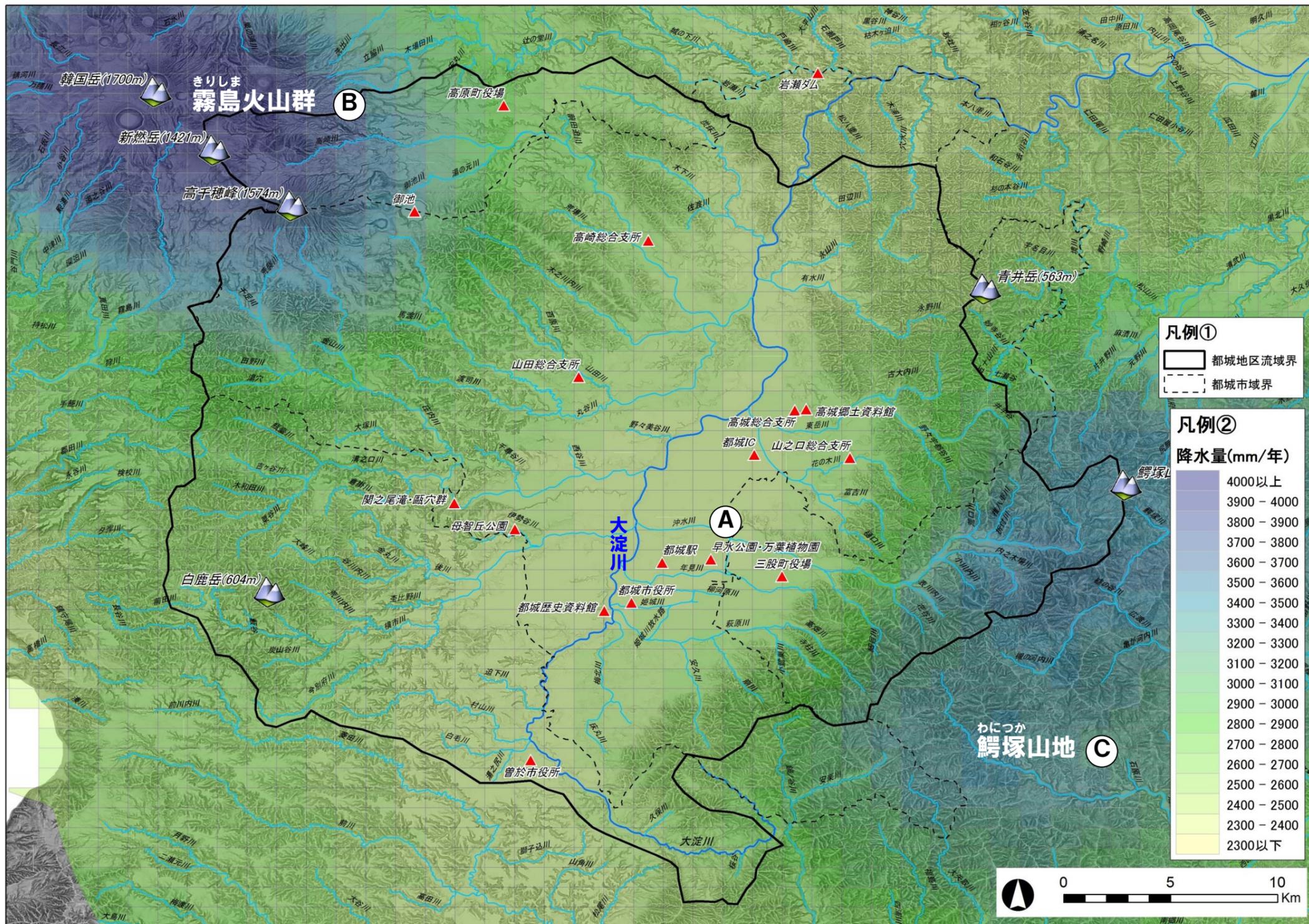
凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地質分布	20万分の1日本シームレス地質図	産業技術総合研究所地質調査総合センター
行政区界	国土数値情報 行政区区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

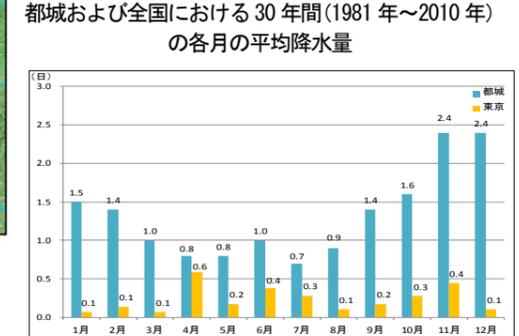
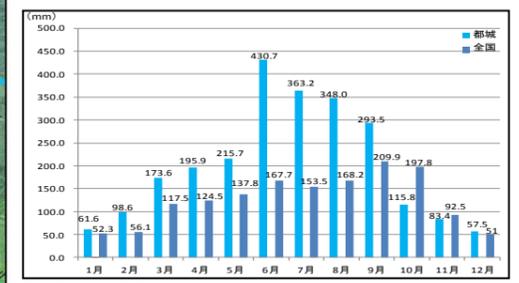
△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図①-3：都城地区の降水量

台風が通りやすく、東西を山に囲まれているため、全国的にみても雨が多い。また、霧も発生しやすい。



- ・都市圏①の年平均降水量は2481.8 mm(1981～2010年の平均)であり、全国平均(1,600～1,800mm)よりも多く、国内でも降水量の多い地域です。
- ・霧島火山群②、鰐塚山地③の降水量は盆地中央部の低地に比べて多く、山地に降った雨が地表や地中を流れて盆地中央に供給されています。
- ・特に霧島火山群②の降水量は約4,400mmになり、平地の都市圏①の1.5倍以上に達します。
- ・盆地状の地形により風が吹きにくく、昼と夜で気温差が大きいため、霧が発生しやすい条件となっています。
- ・霧の年間発生は、都城では年間約16日に対して、東京では約3日になります。



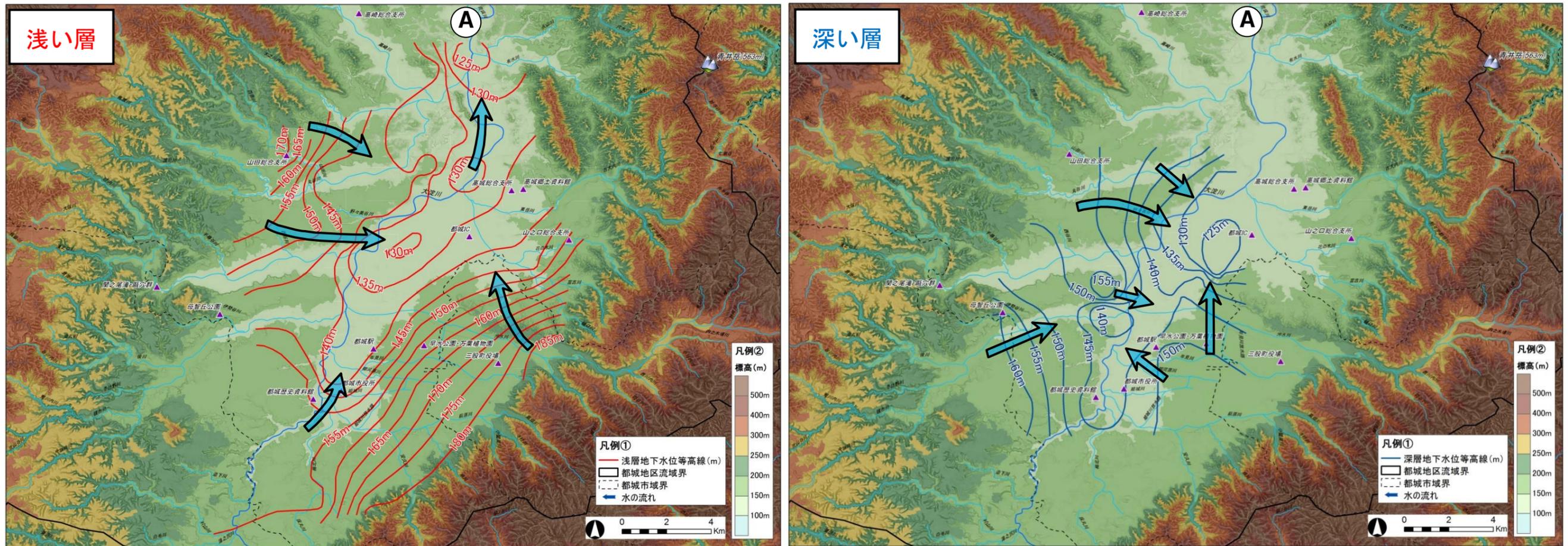
凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
降水量	国土数値情報 平年値(気候)メッシュ	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値地図 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値地図 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図①-4：都城地区の地下水位

地下水は「浅い層」と「深い層」の二層で成り立っており、川と同様に東・南・西から盆地へ流れ込み、北方向へ流れ出ます。

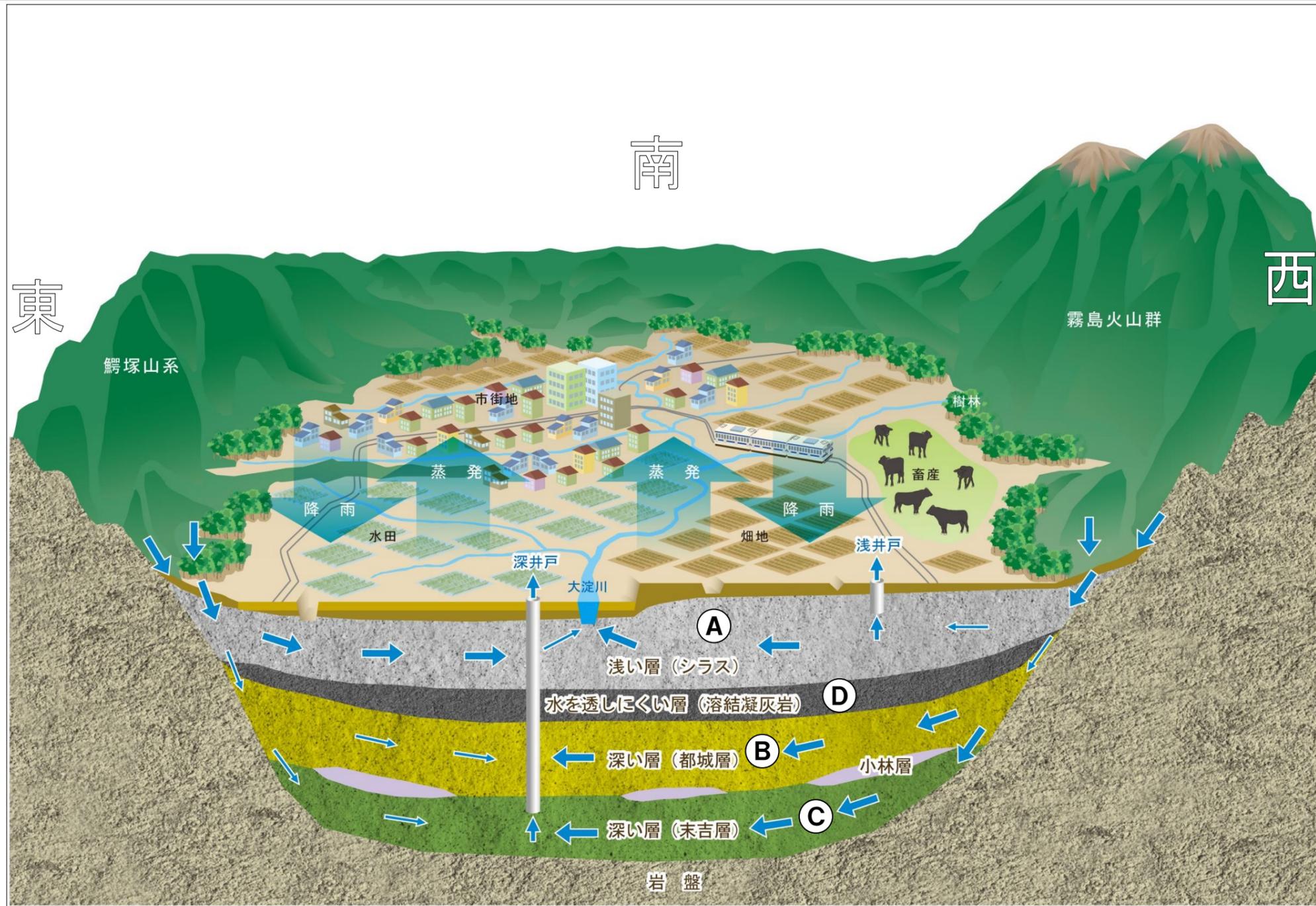


「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 1268 号)」

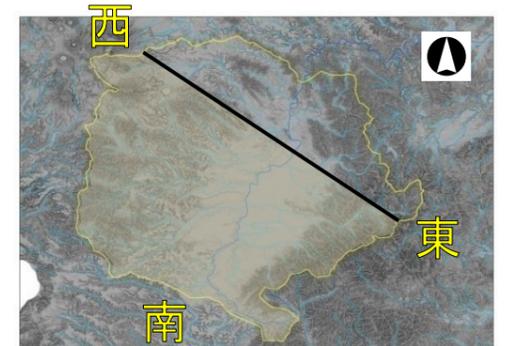
- ・ 都城地区には2つの地下水の層(浅い層と深い層)があります。
- ・ 浅い層の地下水と深い層の地下水は共に山から盆地へ流れ込み、大淀川おおよどがわの流れる方向Aと同じ盆地北部へ流れ出ています。
- ・ 浅い層の地下水は大淀川おおよどがわに沿って流れ出ていますが、深い層の地下水はおおよどがわ大淀川のやや東側を流れています。

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地下水位等高線	宮崎県都城盆地における地下水流動を踏まえた地下水中の硝酸性窒素の期限とその挙動	熊本大学大学院
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院
地下水の流れ	3次元地下水シミュレーションを用いた宮崎県都城盆地における硝酸性窒素の挙動の可視化	熊本大学大学院

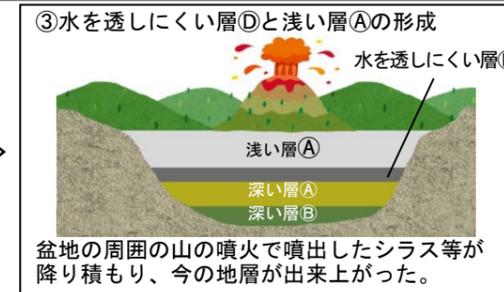
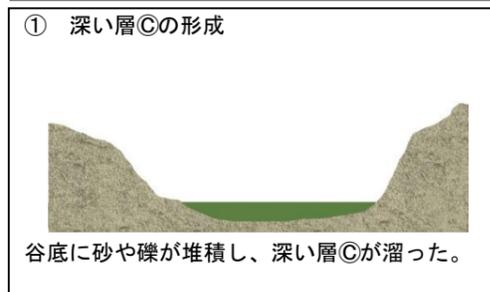
図②：都城盆地の水の動き（大淀川の下流から南方向を見渡して）



- ・盆地の地下水は、「浅い層」Aと「深い層」B・Cの2層に分かれて存在します。
- ・「浅い層」と「深い層」の地下水の間には水を透しにくい地層Dが存在します。
- ・地下水をためる器を形成する基盤の形状は南北に長い船底形をしています。
- ・この器は、霧島火山の噴火で轟のせき止められて堆積した砂や礫（都城層）や小林盆地（小林カルデラ）や錦江湾（始良カルデラ）の噴火で噴出したシラスによって埋まっています。
- ・地形や地下構造から盆地の外から流れ込む地下水はほとんどなく、盆地内に降った雨で地下水はまかなわれています。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1268 号）」

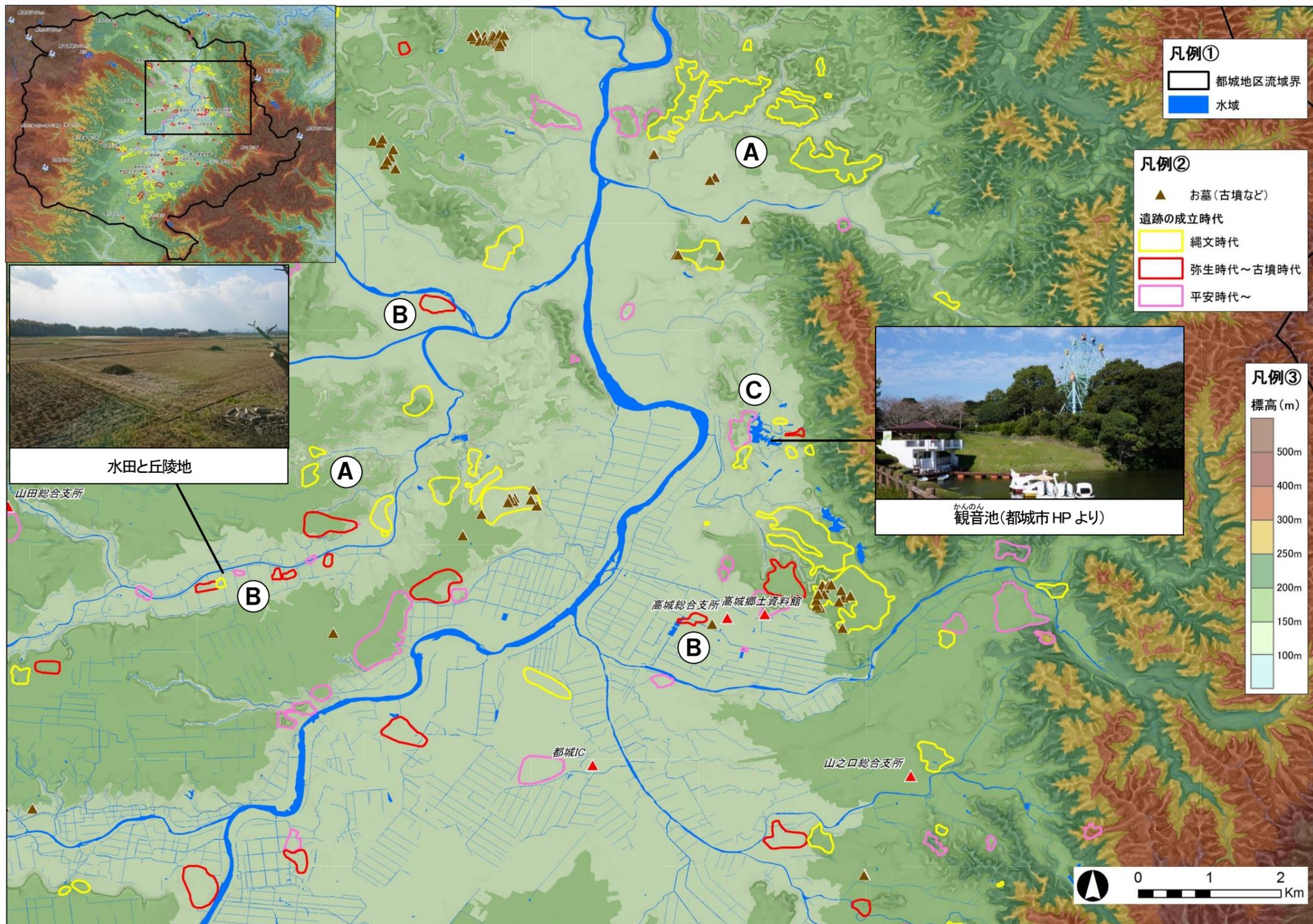


凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
都城盆地の地質及び地下水流動の特徴	都城盆地硝酸性窒素削減対策基本計画	都城市

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図③-1：古代日向神話から引き継がれる生活と水との関わり

へんせん
遺跡から見る湧き水と生活の変遷

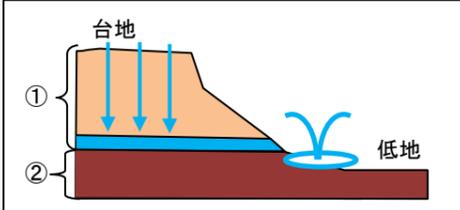


凡例①
 都城地区流域界
 水域

凡例②
 ▲ お墓(古墳など)
 遺跡の成立時代
 縄文時代
 弥生時代～古墳時代
 平安時代～

凡例③
 標高(m)
 500m
 400m
 300m
 250m
 200m
 150m
 100m

- ・ 生きるために欠くことのできない水は、いつの時代も人々の生活と強く結び付いていると言われています。
- ・ 狩猟生活をしていた縄文時代は湧き水の出やすい台地の縁の近くなどで集団生活を送っていましたが(A)、稲作文化が伝来した弥生時代では稲作に適した川沿いへ集落が進出しており(B)、水への依存度が変わったことで生活する場所も変化したと考えられます。
- ・ 水に恵まれた観音池(C)や早水周辺(D)では稲作をするため、弥生時代になっても川沿いへ集落を移動させることなく人々は生活していたと考えられます。



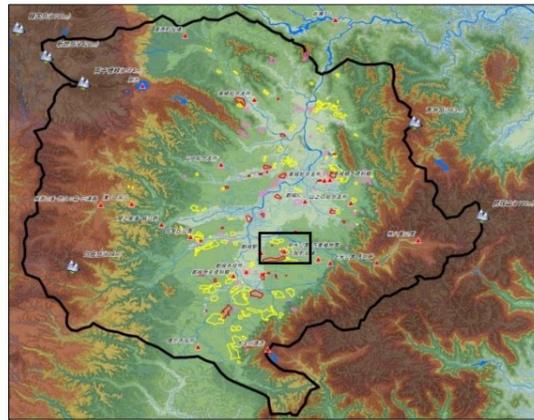
①：水を透しやすい地層(火山灰の地層)
 ②：水を透しにくい地層

台地に降った雨は、水を透しやすい火山灰の地層を透って地下に浸透します。水は透しにくい地層に到達すると、その地層に沿って台地の縁の斜面から地表に流れ出ます。

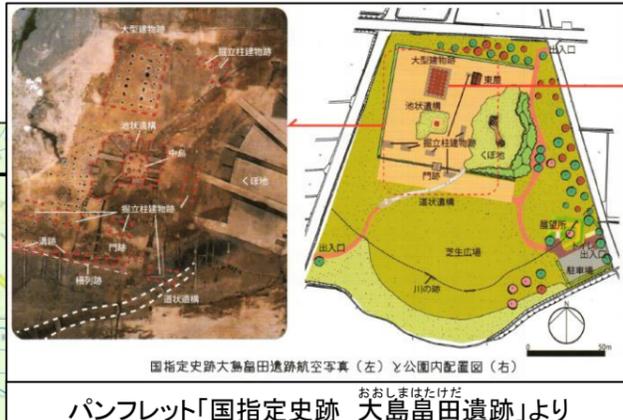
凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院
遺跡	遺跡の位置情報	都城市教育委員会文化財課/都城市HP
水域	基盤地図情報	国土地理院

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

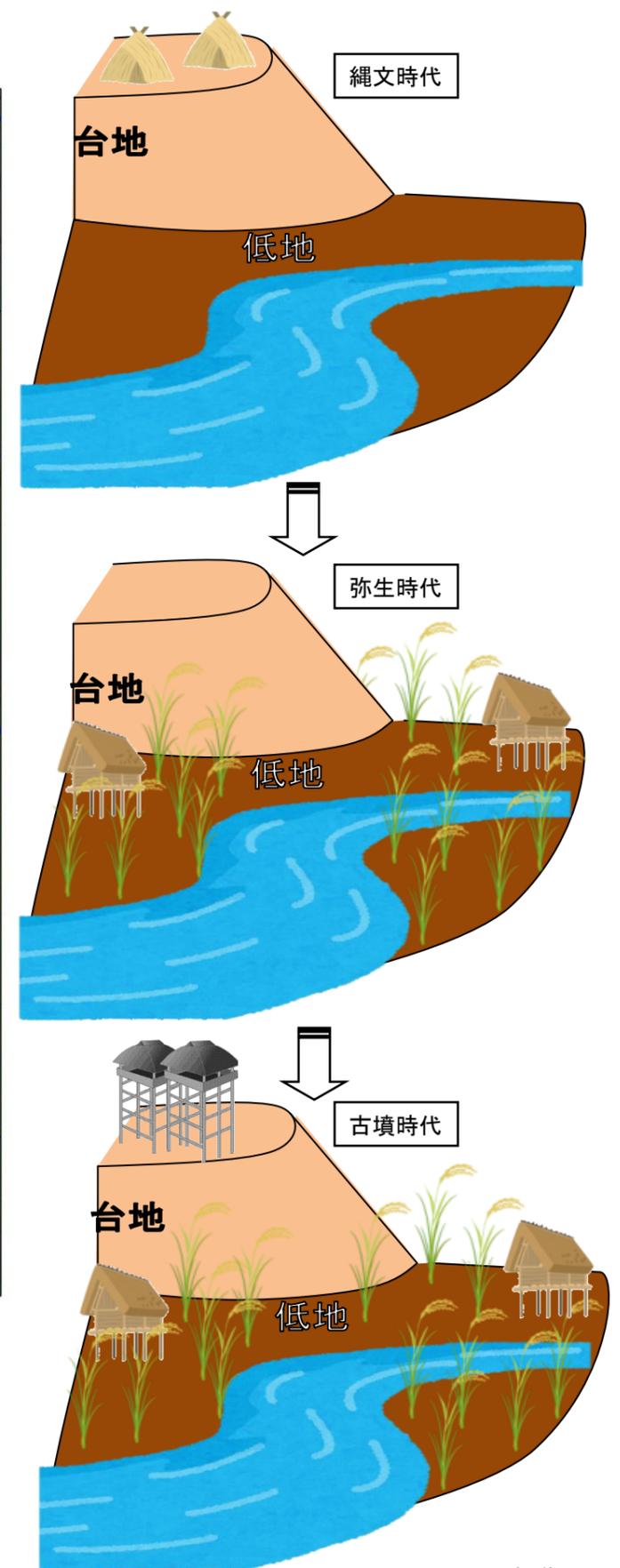
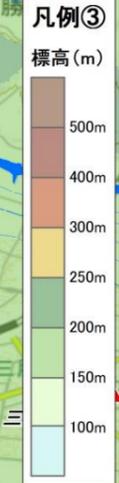


かみながひめ はやみず
髪長姫池・早水神社



国指定史跡大島畠田遺跡航空写真(左)と公園内配置図(右)
おしまはたけだ
パンフレット「国指定史跡 大島畠田遺跡」より

- 凡例①**
- 都城地区流域界
 - 水域
- 凡例②**
- お墓(古墳など)
 - 遺跡の成立時代
 - 縄文時代
 - 弥生時代~古墳時代
 - 平安時代~



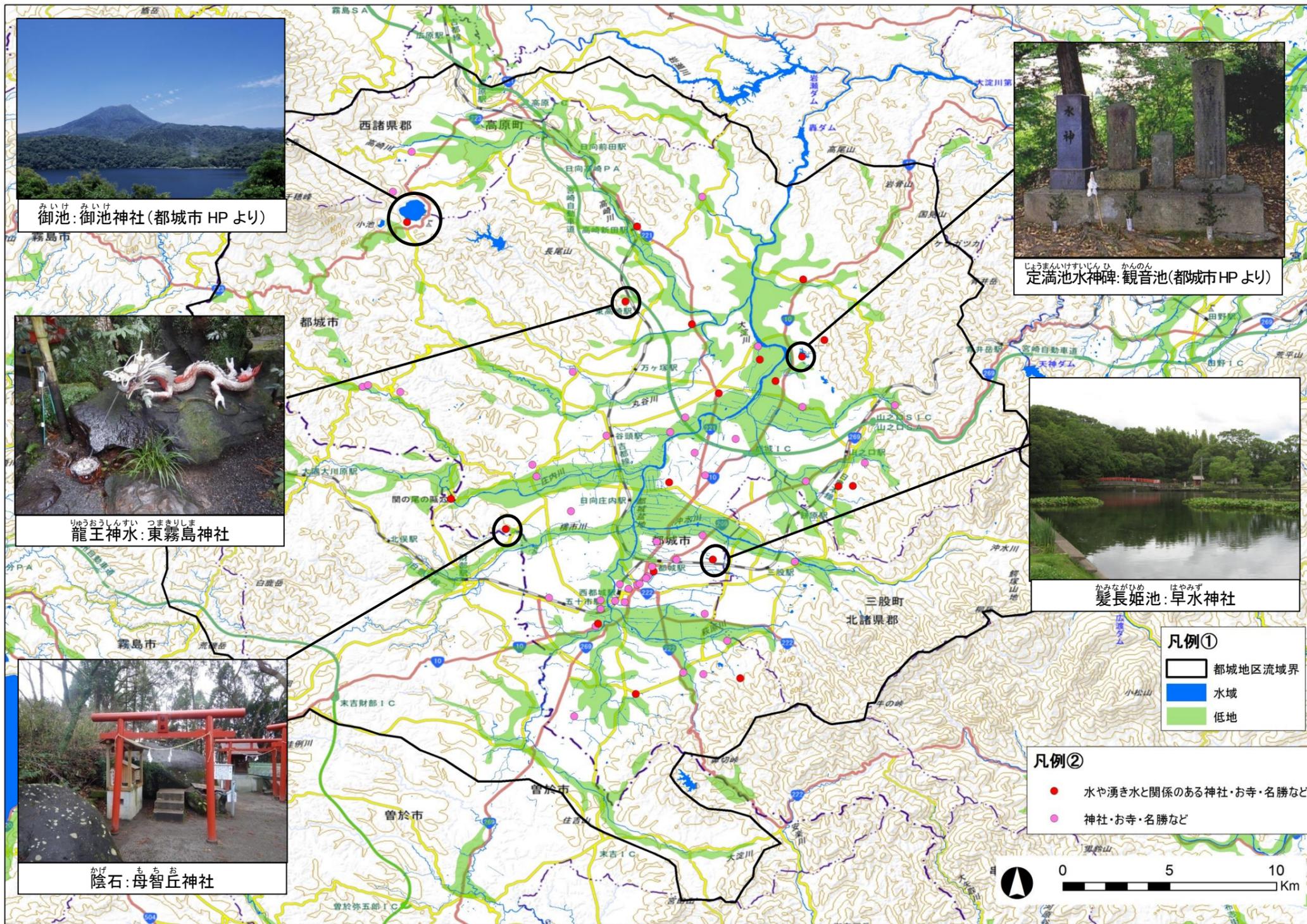
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平 28 情復、第 1514 号)」
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 1268 号)」

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地形	20万分の1土地分類基本調査 地形分類	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	地理院地図(タイル、標準地図)	国土地理院
水域	基盤地図情報	国土地理院

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図③-2：湧き水と神社・名勝などの関わり

生活を支える水は、太古の昔から人に大切にされ信仰されてきました。



- ・水は生活にとって欠かせないため、人々は太古の昔から水を信仰の対象としてきました。
- ・本図では都城地区の神社や名勝を、水や湧き水と関係の深いものとそうでないものに区別して表しました。
- ・水や湧き水と関係の深い神社やお寺が低地の際（台地の縁）に多いことが分かりました。
- ・水を祭っている神社や寺は低地の際（台地の縁）に湧き出した水を敷地内に貯め、祭神としていたと考えられます。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情使、第1514号)」
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第1268号)」

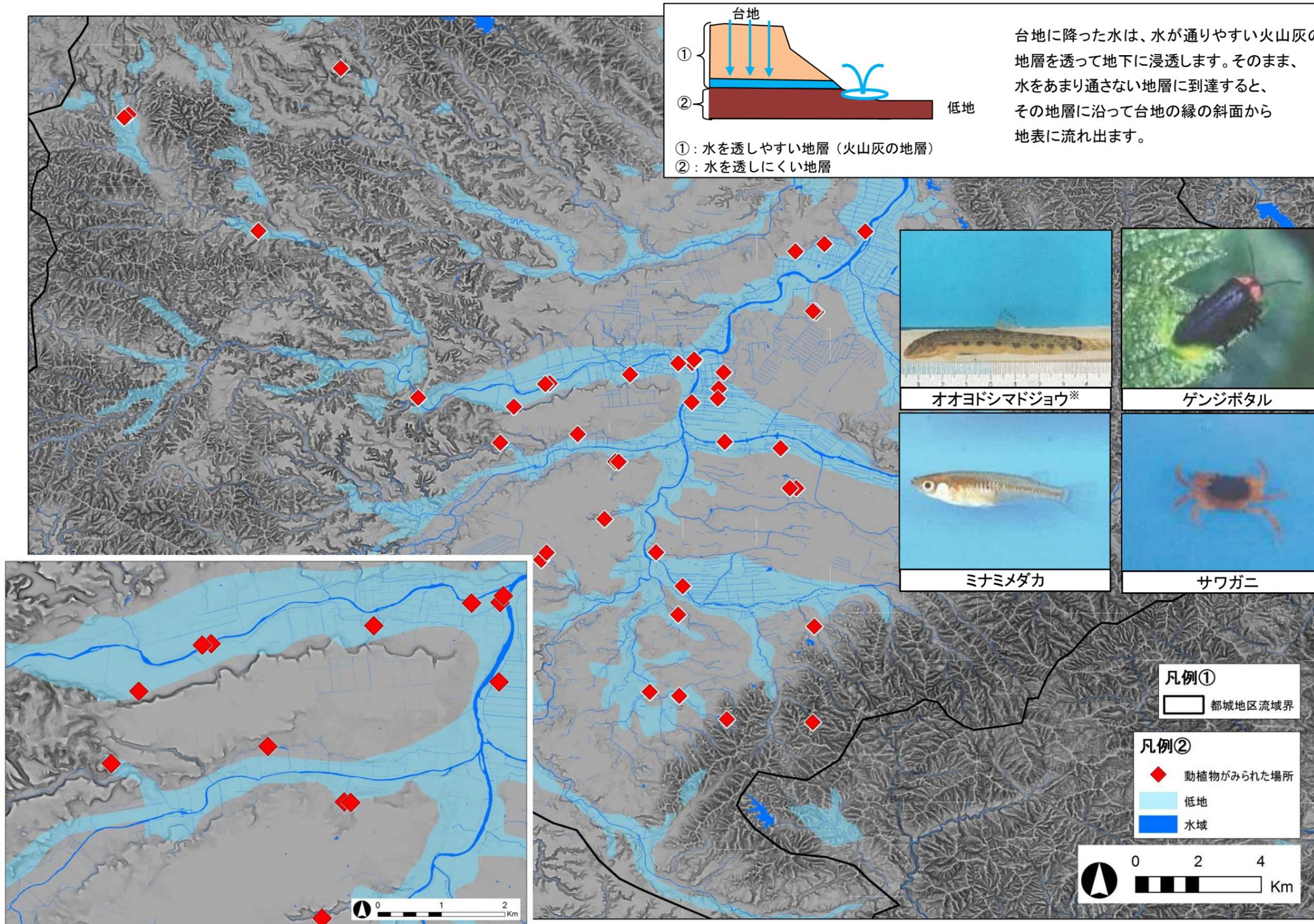
凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地形	20万分の1土地分類基本調査 地形分類図	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	地理院地図(タイル、標準地図)	国土地理院
水域	基盤地図情報	国土地理院

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
神社、お寺、名勝など	神社、お寺、名勝などの位置情報	宮崎県神道青年会/ 宮巡～神主さんが作る宮崎県の神社紹介サイト～ 都城市教育委員会文化財課/都城市HP

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図④：大淀川水系中流域に見られる生き物

全国で珍しくなったホタルやサワガニ、メダカが湧き水にすみます。



台地に降った水は、水が通りやすい火山灰の地層を透って地下に浸透します。そのまま、水をあまり通さない地層に到達すると、その地層に沿って台地の縁の斜面から地表に流れ出ます。

- ①：水を透しやすい地層（火山灰の地層）
- ②：水を透しにくい地層

- ・生き物には綺麗な水を好むものがいれば、汚い水を好むものもいます。
- ・きれいで冷たい水を好む生き物にとって、湧き水がある場所はとても大切なすみ場所になります。
- ・湧き水は崖や台地の縁に多くみられます。
- ・旧都市では840種の生き物が確認されており、うち湧き水や湿地にすむ生き物は45種(約5%)です。
- ・湧き水や湿地にすむ生き物の分布を図示すると、低地の際(台地の縁)に多く分布していることがわかりました。
- ・低地の際(台地の縁)は湧き水で出来た水路や小河川、湿地が形成されやすく、そこに湧き水や湿地を好む生き物がすんでいるためと考えられます。
- ・このことから、湧き水は生き物のすみ場所を形成する重要な要素の一つと言えます。

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
生物確認位置	H16都市生物多様性基礎調査業務委託 動植物個別調査報告書	宮崎県都市環境森林部環境政策課より提供
地形	20万分の1土地分類基本調査 地形分類図	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
水域	基盤地図情報	国土地理院

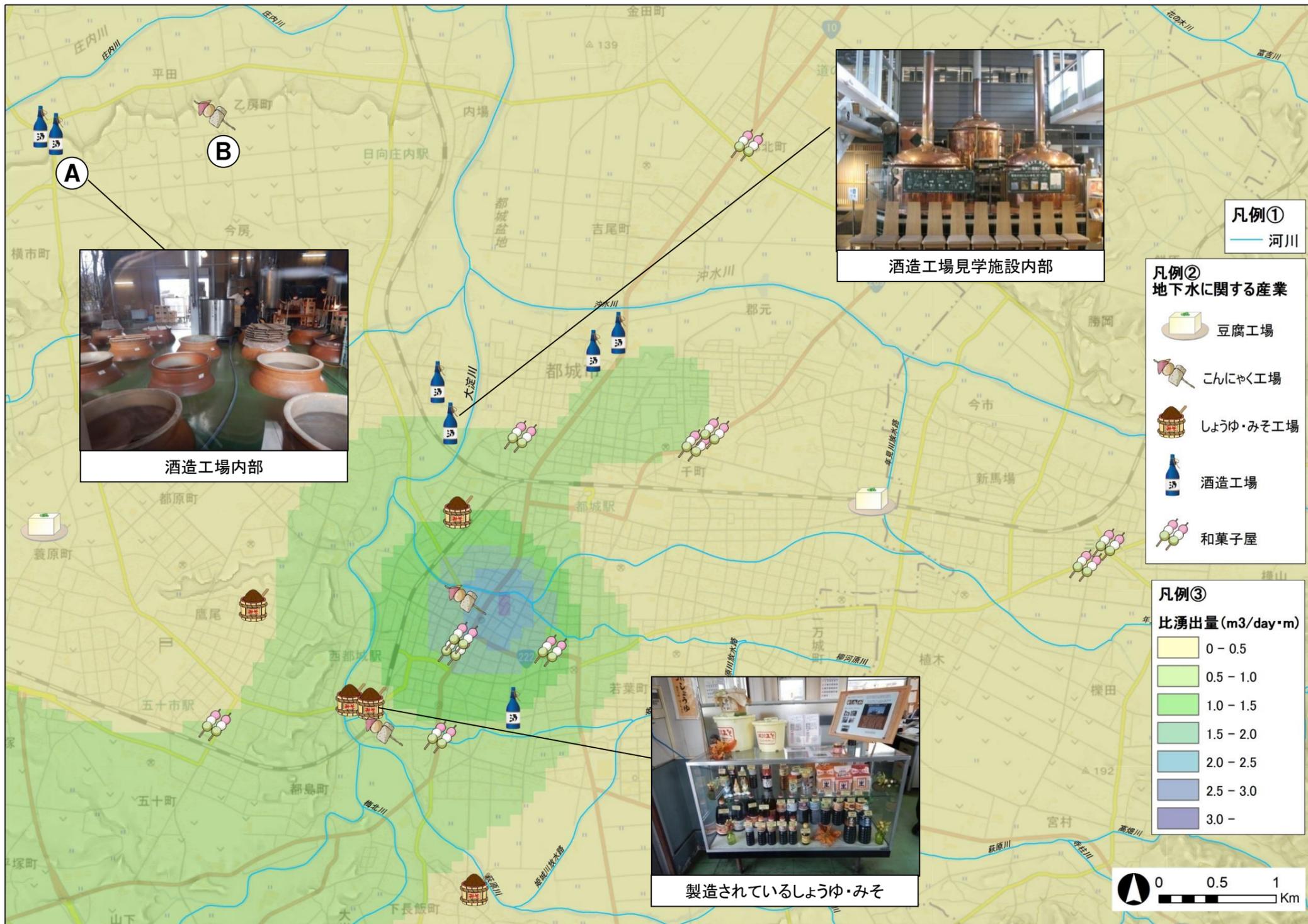
※「H16 都市生物多様性基礎調査業務委託動植物個別調査報告書」では、「ヤマトシマドジョウ」と記載されているが、「宮崎県大淀川水系から得られた特異なシマドジョウ属」(2011、中島・中村・洲澤)により大淀川水系の同種は「オオヨドシマドジョウ」と分類されたため、ここでは「オオヨドシマドジョウ」として掲載した。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 1268 号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図⑤：豊かな産業を育む都城の地下水

地下水は市街地にも豊富にあり、これを活かした産業が行われています。



- ・都城地区では豊富な地下水を利用し、豆腐、こんにやく、しょうゆ・みそ、お酒、そば、和菓子などを製造しています。
- ・都城市の市街地には地下水に関連する製造所が29箇所あります。
- ・水の汲みやすさを指標する「比湧出量」*に注目すると比較的高い場所を中心に21箇所の工場が集まっています。
- ・比湧出量とは、地下水位を通常よりも1m下がった状態を1日間維持し続けた場合に汲める水の量のことであり、この値が多いほど地下水が豊富です。
- ・これらは水の利用のしやすさが地域の物産品を支えていると言えます。
- ・比湧出量が高くないAやBでも、地下水に関する物産品が作られていますが、これらは台地の縁の湧き水を利用していると考えられます。

*比湧出量【m³・day⁻¹・m⁻¹】=揚水量【m³/day】÷（自然水位【m】-揚水水位【m】）

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情復、第1514号)」

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
比湧出量	深井戸台帳(全国地下水資料台帳)	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	地理院地図(タイル、標準地図)	国土地理院

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
地下水に関連する製造所	酒造工場位置情報	宮崎県商工観光労働部 観光経済交流局 オールみやざき営業課/Dareyami 宮崎本格焼酎応援サイト
	その他の製造所位置情報	都城市みやこんにょPR課/都城市HP Google Mapによる店舗検索

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

